

吾亦紅 ～私の歩んだ移ろい行く日々～

高橋正英

「吾亦紅」という歌を初めて聞いた時、思わず涙がこぼれた。
田舎で一人暮らす母のことが思い出されたからだ。
「吾亦紅」の花言葉は「移ろい行く日々」。
記憶を頼りに私の歩んだ日々をつたない文章で綴ってみた。
多くの出会いがあり永遠の別れもあった。
「一期一会」、その時々のお出合いを大切にすることで
人は誰でも豊かな人生を送ることができる。
この言葉を大切にこれからも生きていく。

これは、帯紙に書いてある言葉である。

「はじめに」には、次のように書いてある。

これは私の思い出です

これは私の人生の軌跡です

これは私の本質です

これが私という人間です

これが私なのです



高 22 期の高橋正英さん(河辺中学出身、珠算部、卒業後は東海銀行に入行)が半生を赤裸々に綴った随筆を自費出版しました。

第一章 幼年の頃 第二章 生徒の頃 第三章 社会人 第四章 哀しみ・想い・思い出

最終章 小さな庭の花物語

の全五章からなる 101 ページの本です。

挿絵の墨絵は中学校の同級生である小室 弘さんの作で本書の魅力を更に増しています。

読み終えて、心に薫風が吹いたような気分になりました。

今年の東京雄水会の集いのお楽しみ抽選会の景品に直筆サイン入りで 5 冊提供していただきました。

是非一度手に取ってお読みになることをお勧めします。

投稿:副会長 佐藤政雄(高 21 期)

文治堂書店 刊/定価 1,500 円(送料・振込手数料・税込)

本のご購入・問い合わせは文治堂書店 勝畑さんへ

TEL : 090-2154-9084 FAX : 03-3399-6419 MAIL : bunchi@pop06.odn.ne.jp